

団樂の輪

ちゃぶ台を囲み、車座になって談笑する。

かつてのリビングには団樂の輪があった。

しかし、限られた場所に座る今のリビングの形態では、団樂の輪が形成されていない。

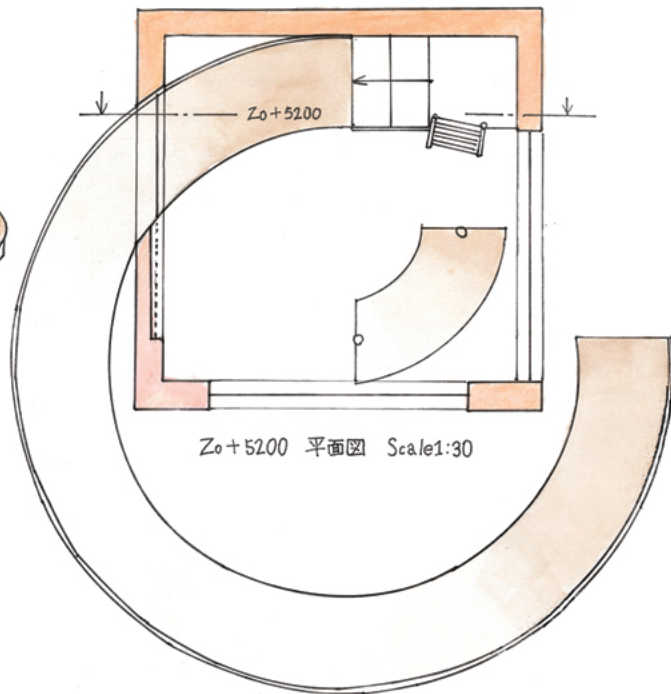
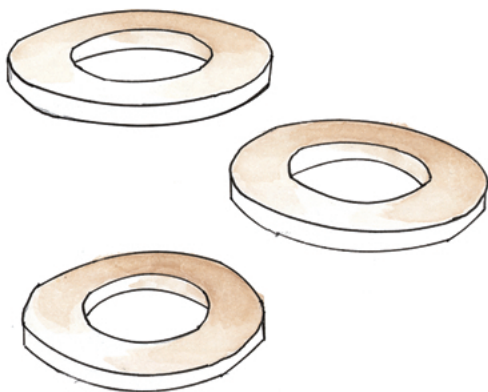
また、コロナ禍において狭い空間で密接に団樂をとることも望ましくない。

団樂の輪を再構築し、リビングに価値を見出す提案をしたい。

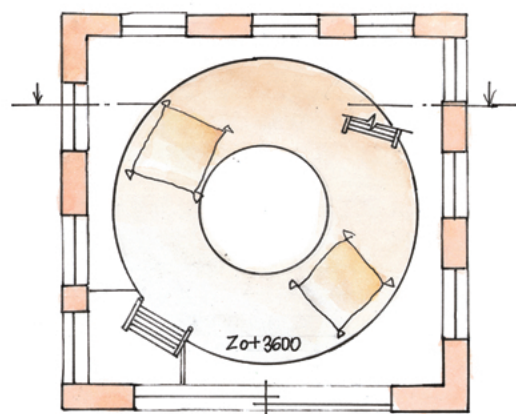
立体的な輪を形成するリビング。

それは密にならない輪になる。

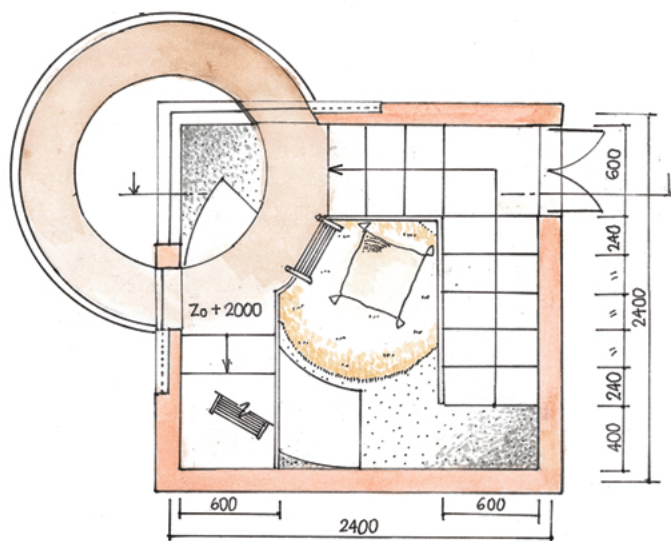
かつての団樂をとりつつ、密を避けるという新たな生活様式を生み出すリビングになるだろう。



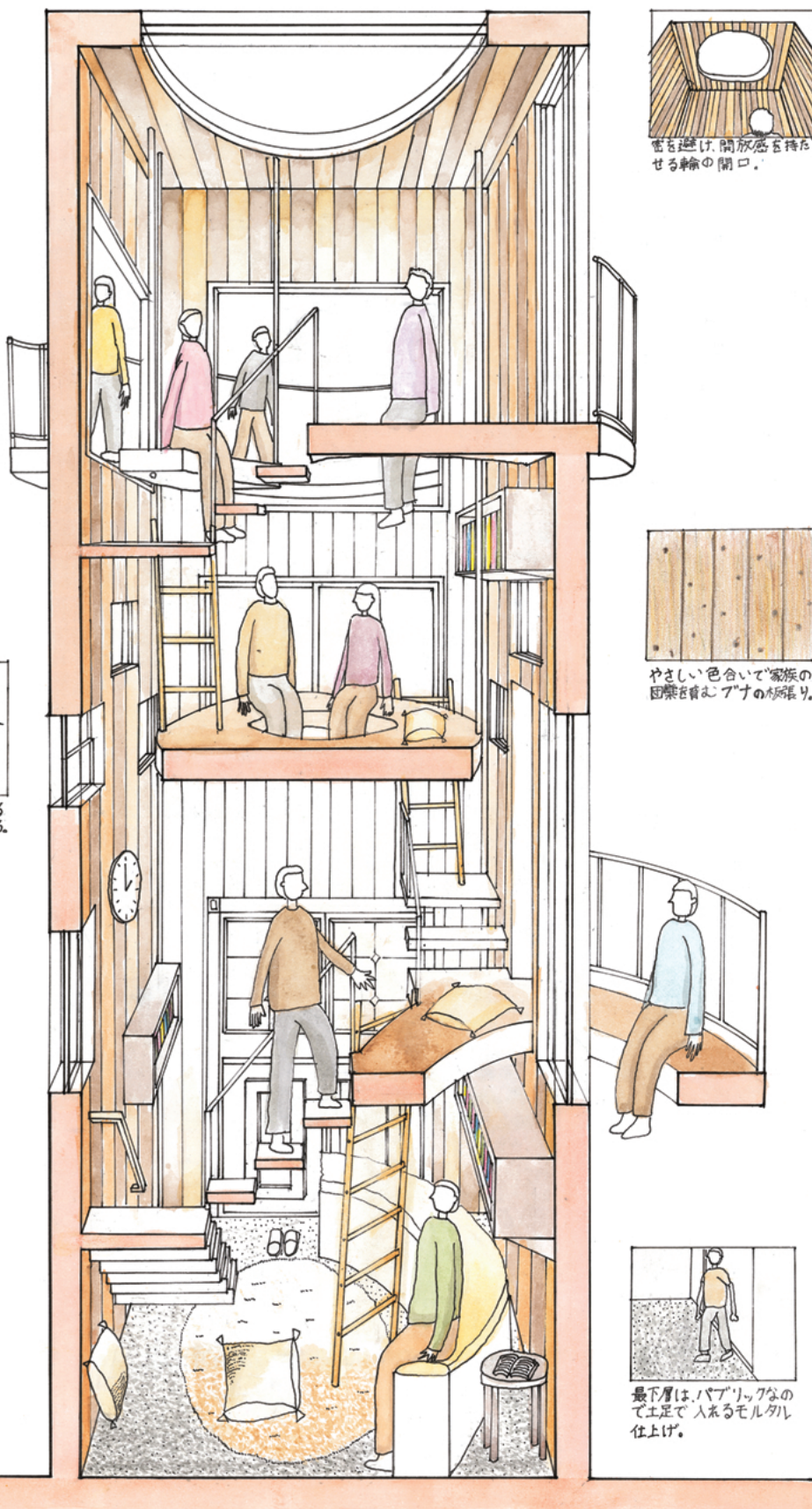
Zo+52.00 平面図 Scale1:30



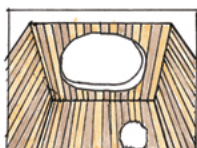
Zo+36.00 平面図 Scale1:30



Zo+24.00 平面図 Scale1:30



断面パース Scale1:30



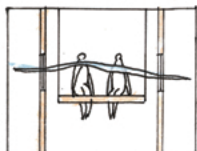
密を避け、開放感を持たせる輪の開口。



やさしい色合いで家族の団樂を育む「木」の暖もり。



最下層は、バブリックなどの土足で入るモルタル仕上げ。

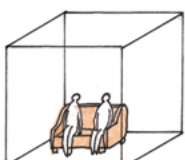


閉鎖された空間を避けるため、開口を大きくつくる。

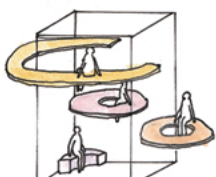
新たな生活に対応する輪の再生



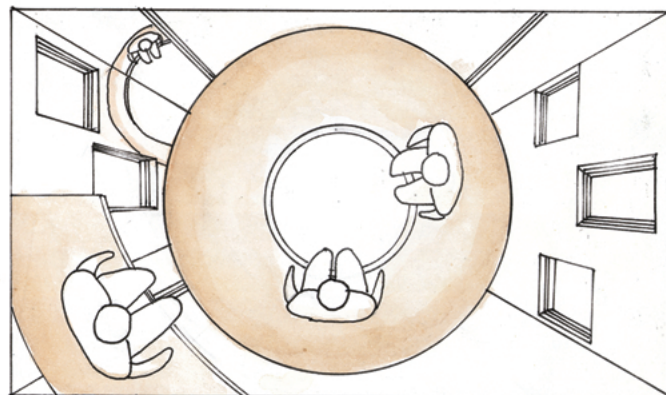
一昔前
ちゃぶ台を中心に
団樂の輪があった。



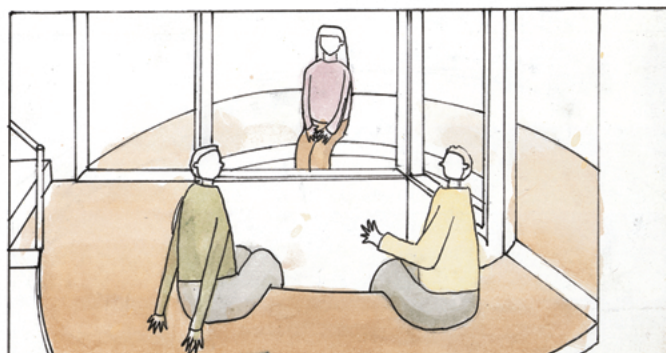
現在
座る場所が限られ、輪が形成されない。
閉鎖された空間で密になってしまう。



提案
紙に距離をとり、密にならない
輪の空間となる。



密を避け、距離をとった輪の団樂



団樂の輪は外まで広がり、閉鎖された空間を開く。